

どのした淵

【グループボランティア始動】

7月18日(日)の公民館及び周辺清掃は、新しい公民会活動体制(グループボランティア)活動として実施します。公民会在住者全員を対象とし、3つのグループ分けにより活動するものです。各世帯主におかれましては、世帯員全員の参加の声掛けをお願いいたします。どのグループに参加するかは各人の判断に任せますが、いずれかのグループに参画してください。

【グループ分けの大きな目安】

■ヤングアダルト&ジュニアグループ：青壮年世代並びに親子会員等(児童・生徒を含む)

■シニアグループ・・・サロン会員等年長者(概ね70歳以上)

■ウーマングループ・・・ヤングアダルト、シニアグループに所属しないすべての婦女子

全員が同じ作業・同じ量を熟さなくいいです。自分の体調・技量にに応じて自分が出る範囲・出来ることで奉仕してください。

皆で汗を流した後は、ウーマングループに準備をお願いする予定のソーメンを食べ、うじゃえけんばなしをしながら慰労をしましょう。

発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

☎ 54-2344

090-1089-9432

7月1日発行

【バックラフト&サップ】紹介

18日(日)グループボランティア活動後、(概ね10時半ごろから)どのした淵で体験するバックラフト&サップボードとは、どんなものか写真で紹介いたします。バックラフトの歴史については先号で紹介した通りです。

サップ(SUP・・・スタンドアップパドルボード)は、ハワイ発祥のマリンスポーツで、ボードの上に立ってシングルパドルを使い、水上を楽しむウォータースポーツです。体感が鍛えられるためエクササイズ効果があるとも言われており、女性にも人気のスポーツです。今回は薩摩教育係の上別府俊哉さんから借ります。また、三腰秀文さんからゴムボートも借りることにしています。親子で、そしてみんなで楽しみましょう。(きららの楽校からバックラフトを借用するので、白男川の子供たちも参加する予定です)



【お・も・い・や・りに感謝】

つい最近2つのお・も・い・や・りにふれ感激しております。1つは茶藪の伐採に對しお世話になりましたと、柏原の上之原さん(故成久さんの妹)から金一封とドリンク・菓子进行いただきました。ドリンクは公民館の冷蔵庫に、金一封は雑入に入れました。交通安全と景観保全のために行っただけなのですが、お気遣いいただき感謝です。2つ目は大平悦子さんからお世話になりましたと焼酎をいただきました。今は娘さんの所(宮之城屋地)で生活されていますが、公民会員として会費も納入いただいています。お二人とも高峯にはお住まいでないですが、お心遣いいただきました。村づくりテーマ「お・も・い・や・り」を地区外在住の方から受ける形になりました。面目ないことです。こちらこそ有難うございます。本当に感謝です。

超高齢化社会の到来・世帯数減の中で、何にゆたかさを求め、何をもってゆたかさとするのか!! 真のゆたかさとは何か! 日々の生活の中で、総ての人・事・物を思いやり、感謝しながら生きて行きたいものです。



美味しくいただきます

【五月供養 7月4日(日) 午後1時から】

公民会行事です。五月供養終了後懇親会も開催します。各世帯1人は必ず出席してください。頼みの原則にのっとり出欠を取りますので、班長さんは頼みにされる方の理由を何番になるか確認し、出欠確認の時報告してください。

■頼みになる場合

1 世帯員全員が冠婚葬祭に出席する時

2 ひとり世帯員・高齢者世帯員全員の病気療

養・静養・入院の時

3 その他突発的な事件・事故

無理をせず、頼みにされたい方は遠慮なく班長さんを通してお知らせください。

■供養後の懇親会時のしおけ(あて)は各戸持ち寄りです。乾き物一袋でも良いので持参し、30分でもいいので参加してください。懇親会までがひとつの行事です。

【7月18日(日) はさつま町青少年ふるさと美

化活動(町内一斉清掃活動)】もあります。早朝から

のボランティアになります。地域の環境美化のためです。全員の御協力よろしく願いいたします。

実施時間帯は各班にお任せいたしますが、原則6時30分から、例年の作業場所の空き缶拾い、清掃に努めてください。収集したごみは分別をしてボランティア袋に入れておいてください。役員でクリーンセンターに持ち込みます。(少量の場合は通常のごみ収集に出します)

【ふるさとの史跡散歩・高峯編】

先に紹介した製本化の基となる冊子に掲載してある『高峯の史跡』についてシリーズで紹介していきます。

1 三腰野(みこしの)

高峯の入り口。このあたりから道が悪くなり、現王様が神輿から降りて休まれたので「みこしの」というようになったといえます。

2 現王様の腰かけ石(こしかけいし)

現王様が休まれたとき、腰を掛けられた石と伝えられ、三腰栄治さんの屋敷内にあります。

3 銀平茶屋跡(ぎんぺいちやあと)

明治の末から昭和の初めごろまで、高野銀平さん(天草の人)がここで(大平安治宅付近)葉から衣類反物・たばこ・砂糖等を商われ大変繁盛したところ。今のスーパーに近いしやれた感じの店でした。

4 うすぐろ

現王様が三腰野から泊野方面に登られる途中は、もう薄暗かったので名付けられたそうです。(故三腰隆満さん宅付近)

5 小高峯(こたかね)

現王様が神輿より降りられ、手飼いの小鷹を放して狩りをされたので名付けられたといえます。◆◆次号からは順次6、20ヶ所まで紙面に応じて掲載します。

※編集後記 『田の神さあの一とり』

上段で紹介した高峯の史跡にまつわる逸話として、面白い話があります。

三腰野で神輿を降りて休憩された現王様でしたが、夕刻がせまり泊野につくまでに暗くなりそうだったので、先を急いだ神輿の行列が速足になったところが、かけあし(母ヶ野頭首工がある付近。自分たちはかけはしと言っているが)で、それでもやっぱり薄暗くなってしまうところがある。すぐろだと聞いたことがあります。

色々な言い伝え・ロマンがあるのですねえ(ー)ー☆

地名には様々な逸話が残っています。そんなふるさとの話に耳を傾け、遠い先祖たちに思いを馳せてみるのも灌漑深いものがあります。

営々と引き継がれて来たふるさと高峯の歴史を後世に語り継ぎ、引き継ぐのも今を生きる私たちの役目なのではないでしょうか！

今回活性化委員会で取り組む製本化がそんな役割を担うとともに、ふるさとを愛する想いと誇りを成就出来たら本望です。